

エアタイトJ-1工法

◆用途：水道施設 浄水場施設 配水池 受水槽 ポンプ施設 水路 など

◆適合規格：日本水道協会JWWA-K-149-2004適合
厚生省令第15号適合
変異原性試験陰性
食品衛生法厚生省告示第370号合成樹脂製の器具又は容器包装の規格基準適合（MRトップコート20）

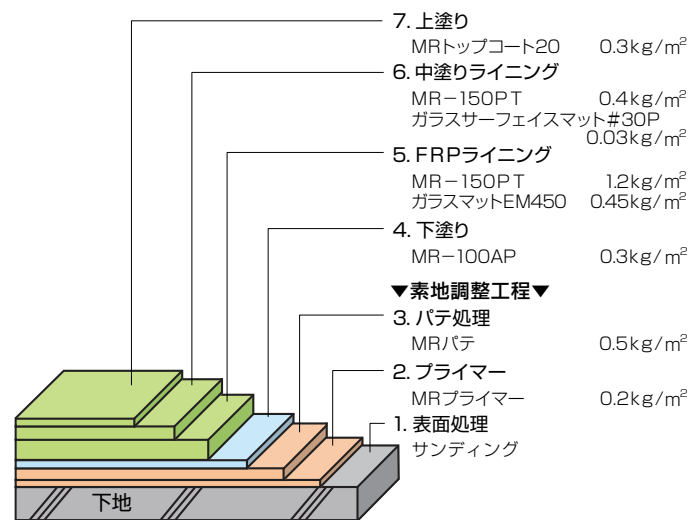
軟質ポリエステル樹脂・耐食ポリエステル樹脂の複合

エアタイトJ-1工法

1プライライニング+ガラスサーフェスマット仕様

膜厚：壁面基準1.2mm以上
水道施設に使用される標準仕様です。
配水池などの覆蓋された水槽に使用できます。

▼防水防食工程▼



防水

防食

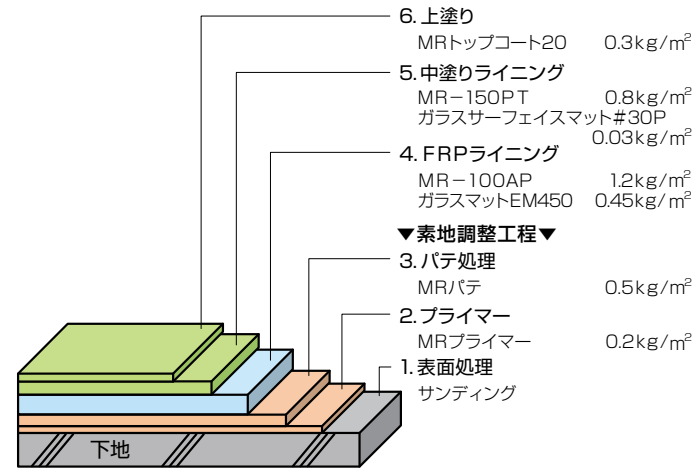
軟質ポリエステル樹脂・耐食ポリエステル樹脂の複合

エアタイトJ-1工法外部屋外仕様

1プライライニング+ガラスサーフェスマット仕様

膜厚：壁面基準1.2mm以上
屋外の施設や大気露出部、開放型水槽に使用できます。

▼防水防食工程▼



防水

防食

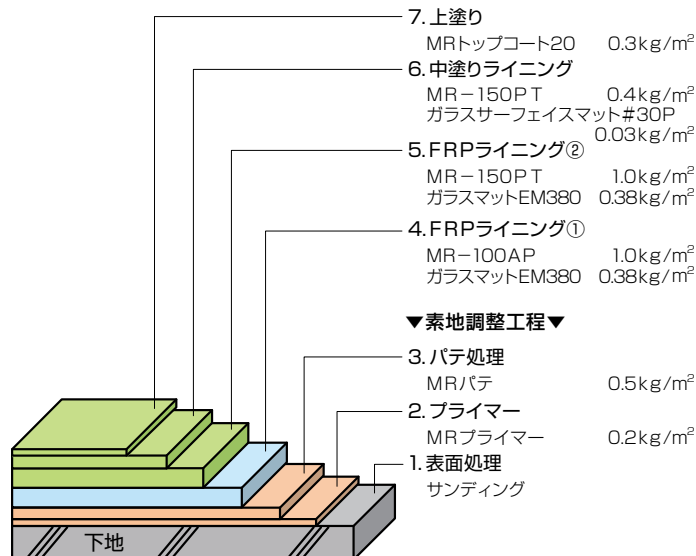
軟質ポリエステル樹脂・耐食ポリエステル樹脂の複合

エアタイトJ-1工法2プライ仕様

2プライライニング+ガラスサーフェスマット仕様

膜厚：壁面基準1.8mm以上
グレードアップした高性能仕様です。
屋内施設や覆蓋された水槽および屋外の施設や大気露出部、開放型水槽に使用できます。

▼防水防食工程▼



防水

防食



※薬品貯蔵槽や薬品設備の床や防液堤などにはビニルエステル樹脂を使用したJ-1VE工法（P9）をご使用下さい。
※硬化促進のために配合されている金属類が次亜塩素酸ナトリウムにより酸化され黒色の染みが発生することがあります。

エアタイトJ-1VE工法

◆用途：浄水場施設 薬品貯槽 防液堤 など

厚生労働省「水道の耐震化計画等策定指針（平成20年3月）」有害物質（薬品・油など）の漏洩による2次被害の防止処置への推奨工法

◆適合規格：日本水道協会JWWA-K-149-2004適合
食品衛生法厚生省告示第370号合成樹脂製の器具又は容器包装の規格基準適合（MRトップコート30）

軟質ポリエステル樹脂・ビニルエステル樹脂の複合

エアタイトJ-1VE工法

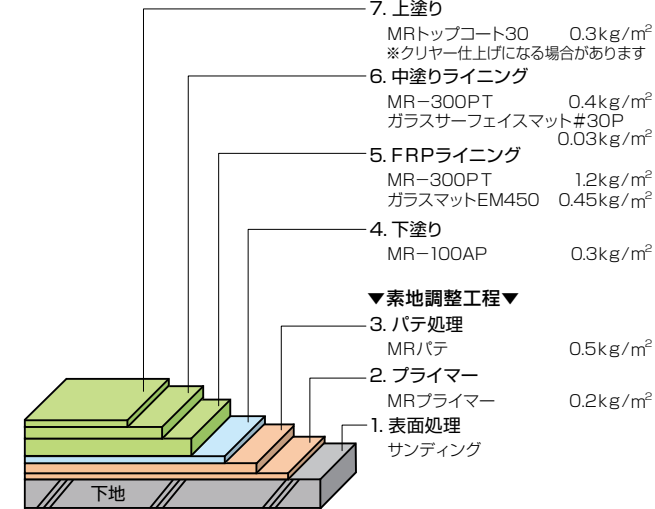
1プライライニング+ガラスサーフェスマット仕様

膜厚：壁面基準1.2mm以上
耐食性に優れたビニルエステル樹脂を使用しています。
覆蓋された水槽や屋内の施設に使用できます。

防水

防食

▼防水防食工程▼



軟質ポリエステル樹脂・ビニルエステル樹脂の複合

エアタイトJ-1VE工法外部屋外仕様

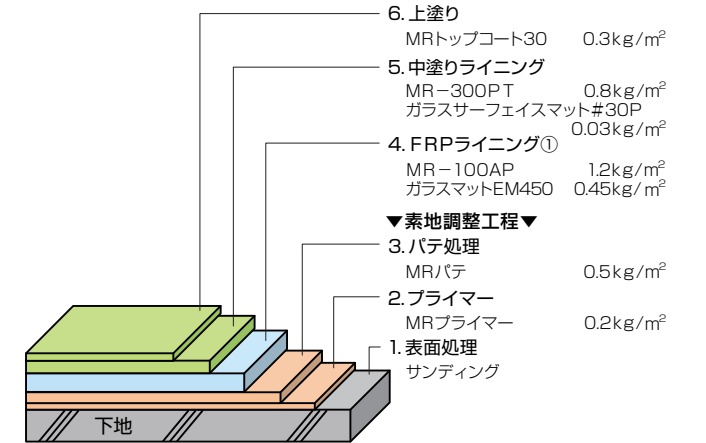
1プライライニング+ガラスサーフェスマット仕様

膜厚：壁面基準1.2mm以上
屋外の施設や大気露出部、開放型水槽に使用できます。

防水

防食

▼防水防食工程▼



軟質ポリエステル樹脂・ビニルエステル樹脂の複合

エアタイトJ-1VE工法2プライ仕様

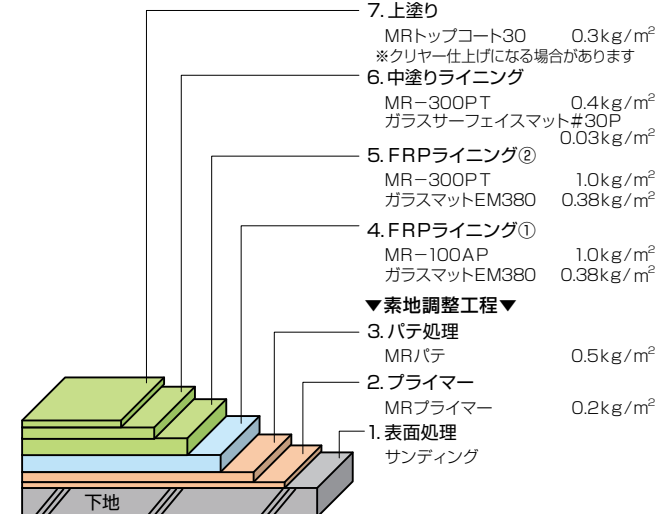
2プライライニング+ガラスサーフェスマット仕様

膜厚：壁面基準1.8mm以上
グレードアップした高性能仕様です。
覆蓋された水槽や屋内の施設および屋外の施設や大気露出部、開放型水槽に使用できます。

防水

防食

▼防水防食工程▼



軟質ポリエステル樹脂・ビニルエステル樹脂の複合

エアタイトJ-1VE工法3プライ仕様

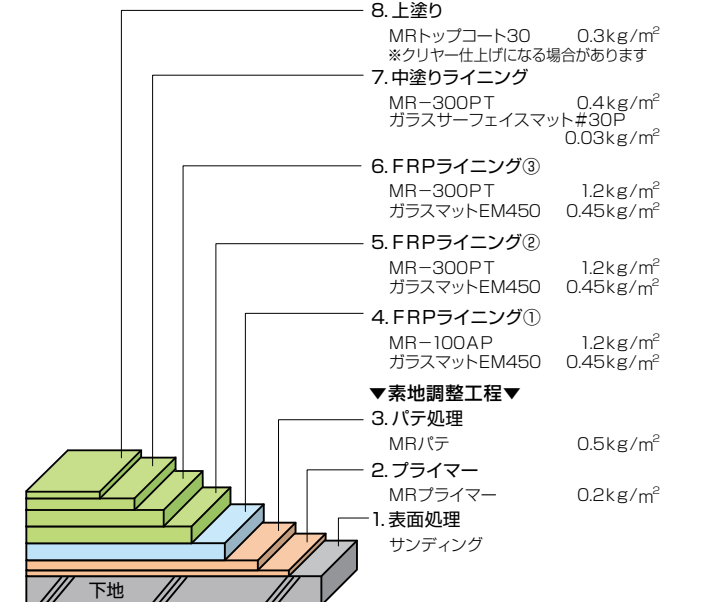
3プライライニング+ガラスサーフェスマット仕様

膜厚：壁面基準3.0mm以上
耐薬品性に優れた重防食仕様です。
浄水場施設の薬品貯蔵槽などに推奨します。

防水

防食

▼防水防食工程▼



※ご使用前に環境液の種類・濃度・液温度・温度変化などの環境条件を調査し適性をご確認下さい。環境条件によっては使用できない場合があります。
※環境液が次亜塩素酸ナトリウムなどの溶解性や分解性が高い薬品の場合はクリアー仕上げになります。カラー仕上げをご要望の場合はお問い合わせ下さい。
※硬化促進のために配合されている金属類が次亜塩素酸ナトリウムにより酸化され黒色の染みが発生することがあります。



RC配水池



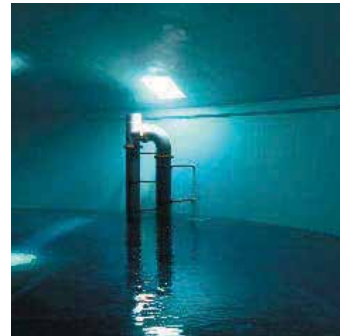
RC配水池



浄水場沈殿池



浄水場沈殿池



PC配水池



PC配水池



薬品設備架台



RC薬品貯蔵槽

◆性能・特性

項目	工法								備考
	J-1工法	J-1工法 外部屋外仕様	J-1工法 2プライ仕様	J-1VE工法	J-1VE工法 外部屋外仕様	J-1VE工法 2プライ仕様	J-1VE工法 3プライ仕様		
大気露出部・開放型水槽への使用	—	○	○	—	○	○	○		
覆蓋水槽への使用	○	—	○	○	—	○	○		
引張り強度	87.9N/mm ²	88.8N/mm ²	96.8N/mm ²	97.1N/mm ²	91.0N/mm ²	103.5N/mm ²	106.7N/mm ²	JIS K 7113	
引張り弾性率	6.0kN/mm ²	4.9kN/mm ²	6.4kN/mm ²	6.2kN/mm ²	4.9kN/mm ²	6.4kN/mm ²	6.5kN/mm ²		
ひび割れ追従性 ゼロスパンテンション試験	0.9mm	0.9mm	1.8mm	0.9mm	0.9mm	1.4mm	2.8mm	破断時の隙間量	
防水性	○	○	◎	○	○	◎	◎		
水質安全性	◎	◎	◎	○	○	○	○		
耐薬品性	○	○	○	◎	◎	◎	◎		
耐候性	◎	◎	◎	○	○	○	○		
接着性 (付着強さ) 下地コンクリート板	標準状態 2.5N/mm ² 吸水状態 2.1N/mm ² 破壊状況 基板破壊	2.5N/mm ² 2.1N/mm ² 基板破壊	2.5N/mm ² 2.1N/mm ² 基板破壊	3.1N/mm ² 2.8N/mm ² 基板破壊	3.1N/mm ² 2.8N/mm ² 基板破壊	3.1N/mm ² 2.8N/mm ² 基板破壊	3.1N/mm ² 2.8N/mm ² 基板破壊	財団法人 日本塗料検査協会 JWWA-K-149-2004	
耐衝撃性	JIS K 6919 6.14 耐衝撃性試験 割れ・はがれ無し								
耐アルカリ性	JIS K 5400 8.21 耐アルカリ性試験 水酸化カルシウム飽和水溶液 20±1℃30日間浸漬 膨れ・割れ・はがれ無し								
透水性	JIS A 1410 11 透水試験 0.0g								
塩素イオン透過度	測定下限値 (0.7×10 ⁻³) 以下 mg/cm ² ・日								
低温・高温繰り返し	予め20±1℃2時間以上保持 (-30±1℃4時間→20±1℃1時間→ 70±1℃2時間→20±1℃17時間)×4サイクルにおいて割れ・はがれ無し								
汚染物質遮断性	外部から侵入する汚染物質を遮断								財団法人日本塗料検査協会
水理性	粗度係数 n=0.011								

※試験値・実績値に基づく性能評価であり保証値ではありません。

※ひび割れ追従性はゼロスパンテンション試験において破断した時点の隙間量を記載しております。

※接着性は接着性試験において測定された強度と破壊状態を記載しております。